

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」	
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進	
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり	

たべる

目標	目標に沿った取組内容	関係する重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
朝ごはんを毎日食べる人を増やす	○朝食の必要性や欠食のリスク等について情報発信を行います。 ○簡単朝食レシピ等の情報提供を行い、忙しい朝でも朝食が摂取できるよう啓発します。 ○産学官連携のもと、朝の時間を有効に活用し、すこやかな毎日を送るための取組を推進します。		●食生活改善推進会活動 ・行政が行う保健事業への参加や出前講座での調理実習や健康講話を行うことで、市民に対しバランスのとれた食事やその作り方を紹介、食事に関するアドバイス等を行う。 ・健康福祉まつりで朝食、減塩、フレイルについての展示や紙芝居を実施(200名参加)。 ●古賀式私の朝プロジェクト 9月21日:イオン福津店で簡単おやつを試食と作り方を紹介。 3月15日:サンリブ古賀店で簡単朝食にお勧めの炊き込みご飯を3種類試食と作り方を紹介。食生活改善推進会による紙芝居「まほうの朝ごはん」を実施。	青少年育成課 商工政策課	●産学官連携による「古賀式私の朝プロジェクト」 ・朝の時間を有効活用することでより健やかな毎日過ごすことを目的とした産学官(古賀市・福岡工業大学・(株)明治・西日本新聞社・福岡県醤油工業協同組合)連携の「古賀式私の朝プロジェクト」では、若い世代を対象とした事業を展開した。 ・通学合宿では、青柳校区、古賀西校区、花鶴校区で株式会社明治より牛乳の贈呈を実施。 ・働く世代の健康づくりについて、商工政策課と連携し、市内事業所との協議を実施。	【健康介護課】 ●食生活改善推進会活動 ・食生活改善推進会の新規会員を増やす工夫 *R8年度の取り組み・・・他料理教室で準会員の案内・日程表の配布。ヘルスメイト養成講座修了者に調理実習を経験してもらえよう食進会定例会の日程表を配布。 ●レシピの提供 ・若い世代の食への関心が薄い。 ・調理の経験がない方でも動画を見ながら簡単に作れるようにしているが、動画視聴者が少ない。 ・朝食の習慣化など食生活や健康に関する正しい知識の普及。 *R8年度の取り組み・・・動画配信をしていること自体を普及する
			●レシピの提供 ・朝食摂取の推進やバランスよく食べる。特に野菜摂取向上をめざす。 ・食生活改善推進員が考案したレシピをホームページ、youtube、料理カードなどでレシピを紹介。 ・料理カードは市内6ヶ所に設置し、自由に持ち帰れるようにした。(市役所、リーバスプラザ、図書館、サンコスモ、でんでん、コスモス館)	給食センター (主管)	●食に関する情報発信 ・食に関しての「校内放送文」や「給食たより」を作成し、朝食の大切さを伝えた。	
野菜を毎食食べる人を増やす	○地域の事業所や野菜もりもり応援店等の店舗と協力し、野菜の摂取量を増やすための情報発信を行います。 ○野菜の摂取が促進されるよう、市ホームページや各種講座等で、野菜がたくさん摂取できるレシピを提供します。		●野菜もりもり応援店認定事業 ・県事業の「ふくおか食の健康サポート店」に移行し、幅広いサービスを利用できるようにした。古賀市ではホームページなど紹介をする。 認定数:18店舗(うち県移行店舗数 5店舗)	農林振興課	●農家直売!「軽トラ市」 農産物直売所「コスモス広場」 ・環境展(6月開催)やKOGA環境ひろばinサスティナフェス(9月開催)において食品ロス削減に関する啓発パネルを展示 ・フードドライブ事業(環境課窓口で寄付を受けた賞味期限1か月以上前の食料品をとりまとめ、月に1回フードバンク福岡に寄付)の実施 ・軽トラ市において、旬の野菜を使ったレシピカードの設置や毎食摂取する野菜の量の手計り方法等のパネルを展示した。	【健康介護課】 ●野菜もりもり応援店認定事業 ・古賀市として野菜もりもり応援店を市民に広く周知する方法が少ない。 *R8年度の取り組み・・・広報9月号にて店舗を紹介。
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人を増やす	○バランスの良い食事の必要性や偏食のリスクについて、情報発信を行います。 ○各種講座やイベントにおいて栄養バランスなどの学習や調理体験の機会を提供します。 ○小中学校・保育所等の給食時間、家庭科の時間等で食事のバランスについて情報発信を行います。	子ども	●子どもクッキング(食育に関心に移動) ・子ども食育事業で食べることや調理することに興味を持ってもらう目的で実施。 ・子どもクッキング 17名参加	隣保館	●スタンドアローン ・スタンドアローン(一人で立つ)支援事業における社会体験事業において、調理実習や健康講話を行い、発達段階である中学生に栄養バランスを踏まえた食事の必要性について啓発。 実施回数 2回 ・参加人数 計53人(1回目:33人、2回目:20人)	【健康介護課】 ●子どもクッキング ・料理教室に新規参加する人を増やす 現在生涯学習課と連携し、教室運営を実施 【隣保館】 ●スタンドアローン 健康に関する知識の習得だけでなく、児童生徒が主体的に健康的な生活習慣を実践する力を育成することが求められている。 子どもたちが自ら健康に過ごしていこうとする意識を高められるよう、今後も保健福祉部と連携しながら取組を推進していきたい。
		子ども	●食生活改善推進員考案レシピの普及・啓発 ●食生活改善推進会活動の実施 ●スタンドアローン事業の協力 ・調理実習、健康講話を行う生徒一人ひとりに魚をさばく体験を実施 8月 おにぎらず 33人(生徒数) 2月 いわしの手開き 20人(生徒数)支援スタッフ5人 総合計 58人	給食センター	●学校給食 ・学校給食に季節の野菜などを使い、郷土料理や行事食などの給食献立等を題材として食に関する校内放送文などを作成。 また希望される学校には、給食試食会などにおいて栄養士が食育講座を実施。	
		高齢者	●男性料理教室 ・男性高齢者が自立した生活ができるように、バランスの取れた食事など料理の基礎から学ぶ調理実習を開催する。また、閉じこもりにならない為に仲間づくりを目的として実施している。2回コースで参加者のべ11名(和食、韓国料理)	学校教育課	●家庭科の授業・給食時間の活用	
減塩に心がけている人を増やす	○減塩の必要性や塩分の摂りすぎによるリスクについて情報発信を行います。 ○各種講座やイベントにおいて、減塩の方法についての学習や調理体験を提供し、調味料を計ることを推奨します。	女性	●若年層に対する減塩啓発事業 ・婚姻届出者、妊娠届出者に計量カップや計量スプーンを配布し、ライフステージが変わるタイミングで、減塩を意識してもらう機会を提供する。 婚姻届:配布数89件、妊娠届:配布数404件 ●福祉まつり ・福祉まつりなどで、減塩についてのパネル展示及び紙芝居を実施(200名) またレシピなど動画配信、配布			【健康介護課】 ●若年層に対する減塩啓発事業 ・事業評価の精度向上に向けたアンケート回答率の向上 ・健康啓発物品の活用とアンケート実施による事業評価の充実

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」	
基本方針:ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進	
基本方針:まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり	

たべる

目標	目標に沿った取組内容	関係する重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
ゆっくりよく噛んで 味わって食べる 人を増やす	○離乳食教室や幼児健診などの子育て支援事業をとおり、咀嚼の大切さについて普及啓発を行います。 ○小中学校・保育所等の給食時間を中心に学級活動において、咀嚼の大切さについての普及啓発を行います。 ○子どもから高齢者までの歯や口腔機能の向上について、歯科医師や歯科衛生士の講話・実習を行います。		●出張歯科講座 粕屋デンタルフェアをサンコスモ古賀で実施 参加人数 699名 歯周病検診 受診者数 231名	子ども家庭センター	●離乳食教室 ・離乳の意義、食育についての知識を身につけ、安心して離乳へと移行できるよう支援する(離乳の進め方、乳児の口腔の発達、食物アレルギーなど) (R7年度実績) ・実施回数:12回(1回/月) ・参加者数:乳幼児106人、保護者125人 ●幼児健診保健指導 ・幼児健診の際に、月齢にあった食事の硬さや咀嚼の必要性について説明している。 (R6年度実績) ・1歳6か月児健診 実施回数:12回(1回/月) 受診者数:369人 ・3歳児健診 実施回数:12回(1回/月) 受診者数:451人	
				学校教育課	●保健の授業	
				給食センター	●食に関する情報発信 ・給食献立等を題材にし、食に関する校内放送文などを作成し、咀嚼の大切さを伝えました。	
食育に関心がある 人を増やす	○食品の生産から消費に至るまでの循環について学習する機会を提供します。 ○小中学校・保育所等において野菜づくりや食品加工をはじめとする体験活動を促進します。 ○「いのちをいただくこと」(食育)や「食べたら出すこと」(排育)の大切さについて道徳や学級活動、保健学習で学ぶ場を提供します。	子ども	●食生活改善推進会活動 ・出前講座などで地域、小学校に出向き減塩に関する調理実習、みそ作り、みそ玉作り等を行う。 みそづくり 子ども園 2か所 98名参加 小学生 2か所 128名参加 出前 調理実習 5カ所 108名参加	子ども家庭センター	●菜園活動 ・市内保育所等において、乳幼児期(3～5歳)に菜園活動(野菜栽培・収穫)を実施し、栽培から収穫、実食までの体験により生命の尊さを学び、食への感謝を深める貴重な活動となった。	【健康介護課】 ●食生活改善推進会活動 ・若い世代の食に対する関心が薄れてきており、若い世代が興味を引く情報発信の工夫が必要 *R8年度の取り組み・・・SNS等を活用する。 【給食センター】 ●地産地消の取り組み、地元農産物・生産農家の紹介 年々、地元農産物の使用割合は増えているものの、大量調理であるため、納入量が多いとともに衛生面や規格などの課題等から地元農産物使用量の大きな伸びはない 【海津木苑】 ●排育学習 施設見学等における、説明資料等のバージョンアップを図る必要がある。
				学校教育課	●生活や道徳の授業	
				給食センター	●地産地消の取り組み、地元農産物・生産農家の紹介 ・地元農家や新規就農者などに声かけなどを行い、地産地消に努めるとともに、給食で使用された地元農産物・生産農家の紹介を進めました。	
				海津木苑	●排育学習 ・市内小学校4年生対象の施設見学(8校) ・福津市内小学校4年生対象の施設見学(1校) ・パネル等展示(2回) ・市内外研修・見学(37回) ・出前講座(1回)	
家庭や地域等で 共食をする人を 増やす	○家庭における共食の重要性について情報発信を行います。 ○公民館活動やヘルス・ステーション活動等において、共食の機会を促進し、世代間交流を図ります。	子ども	●親子料理教室 ・親子で調理実習をし、共食の大切さを発信する	青少年育成課	●通学合宿 (朝食のみでなく、自炊、夕食も含む) ・3箇所(青柳校区49人・古賀西校区18人・花鶴校区7人)で通学合宿を実施し、小学生が自分たちで献立を決め、材料を購入し、調理をして食事を共にする体験を得ました。また、通学合宿中に古賀式私の朝プロジェクトの一環で、健康介護課職員による健康講座を実施し、子どもたちへの啓発が行われました。	

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」	
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進	
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり	

たべる

目 標	目 標に沿った取組内容	関係する 重点項目	健康介護課	他課（庁内連携）		課 題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
郷土料理や家庭で受け継がれてきた料理（和食など）を次世代に伝えている人を増やす	○地域、小中学校・保育所等の給食時間、家庭科の時間等で、郷土料理や行事食、和食などを味わい学習する機会を提供します。 ○地域や家庭の中で郷土料理や和食を伝承するために、地域での講座や調理の機会を提供します。	子ども	●みそづくり教室 ・大豆からみそづくりを経験し、自分たちで作ったみそを使い料理教室を実施。またいなりずしを作り、和食の味わいなどを経験する。 ●親子料理 ・日本の伝統食である「おせち料理」を親子で体験する 参加者 17名 ●ヘルスメイト養成講座 ・家族みんなで食事をすることの大切さを説明する	子ども家庭センター	●食育の取り組み ・各保育施設策定の食育計画に沿った食育事業を実施。 ・市内保育施設において、ピエトロ株式会社・古賀市食生活改善推進会と連携して食育イベントを実施。 【実施施設】6施設	
				学校教育課	●家庭科の授業・給食時間	
				給食センター	●学校給食 ・学校給食に季節の野菜などを使い、郷土料理や行事食などの給食献立を取り入れ、献立表や校内放送文で紹介。	
				農林振興課	●農業消費者交流推進事業 ・認定農業者協議会が主催するさつまいも掘り体験（年2回延べ86名）を通して、市内未就学児などが農業に触れる機会を確保するとともに、地元農産物を家庭で味わう機会を提供。 ・認定農業者協議会が栽培する農産物を学校給食センターに納入し、子どもたちが地元農産物を味わう機会を提供。 ・「農業委員会だより」（年2回発行）の中で、地域の農産物を使った料理や郷土料理のレシピを掲載し、地産地消や地元食文化に関する普及啓発を図った。	
食品ロス軽減に取り組んでいる人を増やす	○リサイクルの必要性や食品ロス削減の方法についての情報発信を行います。 ○学校給食における残滓量減少を促進します。 ○給食センター見学等の体験活動において「もったいない」という意識の醸成を促進します。			給食センター	●給食センター親子見学 ・食への正しい知識と望ましい食習慣を身につけるとともに、感謝の気持ちを育むため、長期休暇期間を利用した「親子見学」、市内全小学校2年生対象の「給食センター見学」を実施しました。	【給食センター】 ●給食センター親子見学 給食センター施設・設備の老朽化により、各更新工事を夏休みにする必要があり、親子見学の実施日が限られてくる
				環境課	●食品ロス削減の取り組み ・環境展（6月開催）やKOGA環境ひろばinサスティナフェス（9月開催）において食品ロス削減に関する啓発パネルを展示。 ・フードドライブ事業（環境課窓口で寄付を受けた賞味期限1か月以上前の食料品をとりまとめ、月に1回フードバンク福岡に寄付）の実施。	
食生活改善推進員の数を増やす	○実際に活動内容を周知することや、体験してもらうことで、新規会員を増やす取組を行います。		●ヘルスメイト養成講座 ・食に関する正しい知識を持ち、食生活改善推進員として活動できるように人材養成する ・事業参加者10名 食生活改善推進員加入者 3名			【健康介護課】 ●ヘルスメイト養成講座 ・食生活改善推進会の活動が、自主的に活動をするのがまだ難しい。 ・会員の高齢化。 ＊R8年度の取り組み・・・新しい会員が、参加できるようにプレで活動内容を体験できるようにしていく。

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり

うごく

目標	目標に沿った取組内容	関係する重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
定期的に運動をする習慣がある人を増やす	○体を動かすことが少ない傾向にある人でも気軽に参加できる講座やイベント等を企画し、身体活動の増加をめざします。 ○身体活動の増加につながるような工夫、身近な地域で運動ができる場や機会についての情報発信等を行い、自分のスタイルに応じた運動習慣の獲得をめざします。	高齢者	●ふくおか健康ポイントアプリ ・歩数や健康記録、健康づくりイベントへの参加などに応じてポイントが付与される。 ふくおか健康ポイントアプリ 応募者87人、当選者40人	隣保館	●よかよか広場 ・地域の高齢者を対象とした、「よかよか広場」事業において健康教室を行い、その中でボールゲームやスカットボールなどを実施。身体を動かすことだけでなく、内容を工夫し、周囲の人たちとコミュニケーションを取りながら、楽しく参加できるような活動を行うことで、気軽に参加し楽しく運動する習慣を獲得する支援を行った。 実施回数 年6回×3カ所 参加者数 ししが校:94人、高田校:45人、新原校:6人	【健康介護課】 ●ふくおか健康ポイントアプリ ・応募が少ない *R8年度の取り組み・・・今後LINE等を活用し、周知徹底を図る
			●関係機関・団体等との連携による健康づくりの普及啓発 ・関係機関・団体等と連携し、運動の実施や日常生活における身体活動量の増加について周知を行うとともに、健康チャレンジ10か条に基づき、広報紙やホームページ等を活用した普及啓発を実施。	環境課	●ワンヘルスに関する取り組み ・ワンヘルスの6つの柱のうちの1つが健康づくりであることから、広報9月号において、ワンヘルスの特集を組み、ワンヘルスの観点からも健康づくりが必要であることを周知した。 また、ワンヘルスの啓発のため、「みんなで学ぶワンヘルスと馬のふれあい体験」を開催し、古賀市在住の方を対象にワンヘルスについての講座と馬のふれあい体験を行った。	
				健康介護課(地域支援事業)	●地域リハビリテーション事業 実施:4行政区 地域が主体的に運動等を行っている地域に対し、地域リハビリテーション活動支援事業として、リハビリテーション専門職を派遣。	
日常生活における歩行数(時間)を増やす	○ウォーキングに関するイベントや講座を実施し、運動を始めるきっかけづくりや正しい歩き方等の情報発信を行います。 ○一緒に運動に取り組む仲間づくりができるよう、地域でのきっかけづくりを支援します。 ○運動の必要性や効果について、情報発信を行います。 ○小中学校の「体力向上プラン」に基づき運動の習慣化及び体力づくりの支援に取り組みます。		●広報、ホームページ等での啓発 ・広報紙やホームページ等を活用し、関係機関・団体等の取組における運動の実施や日常生活における身体活動量の増加について周知 ・健康チャレンジ10か条に基づく普及啓発を実施。	生涯学習推進課	●市民ウォーキング ・11月開催:参加実績83人(大人82人、子ども1人)、中学生ボランティア12人 健康づくりの推進と古賀市の魅力再発見 浜辺コース6km、文化課コース5km ・3月開催:古賀を歩こう!ウォーキング 参加実績:100人(大人92人、子ども8人) ●ウォーキング人材育成講座 ・～がんばらない健康講座～3月開催全2回、参加実績:20人 第1回 正しい健康情報 第2回 姿勢の歪みチェック ・地域でウォーキングを推進できる人材の育成 講師:健康教育推進研究所 所長江口泰正氏	【地域活動サポートセンター ゆい】 ●いきいきボールンピック ・出場する地域の新規獲得 広報紙やチラシで周知啓発をする
				環境課	●地球温暖化対策に係る歩行の推進、啓発 ・広報7月号において、温暖化対策の特集ページを組み、できるだけ公共交通機関、自転車、徒歩で移動するよう周知した。	
				生涯学習推進課	●親子スポーツ教室(スポーツ協会主催) 親子で一緒にスポーツをする機会を提供する ・実施回数:6回、参加者数:99人 ●運動遊び体験会(スポーツ推進委員主催) 身近な遊び場で運動するきっかけづくり ・実施回数:1回、・参加者数:18人	
				地域活動サポートセンター ゆい	●いきいきボールンピック ・地域の運動による介護予防活動の普及啓発を目的とし、介護の日に合わせ、簡単に楽しめるボールゲーム大会を毎年開催している。 ・平成30年度より、地域予選をシニアクラブ連合会に委託し、今後より多くの高齢者が参加するイベントを継続していく。 ・参加チーム:110チーム、参加人数:826人	

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり

まもる

目標	目標に沿った取組内容	関係する重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
肥満(BMI25以上)の人の割合を減らす	○成長や体型に応じた食生活や運動習慣など、適正体重や体重管理に関する情報発信を行います。 ○自宅での血圧や体重測定を推奨するとともに、公民館や各種イベント等、身近なところでInBodyや血圧など健康測定ができる機会を提供し、健康意識及び自己管理能力の向上を図ります。	女性	●国際女性デー(3月8日)及び女性の健康週間 ・国際女性デー(3月8日)及び女性の健康週間(3月1日～8日)に合わせ、健康介護課と人権センターが連携し、「女性の権利」と「女性の健康」をテーマとしたパネル展示を市役所及びサンコスモ古賀で実施。	人権センター	●国際女性デー(3月8日)及び女性の健康週間 ・健康介護課と人権センターが連携し、「女性の権利」と「女性の健康」をテーマとしたパネル展示を市役所及びサンコスモ古賀で実施。市ホームページ、公式LINE及び職員向け掲示板で展示を周知するとともに、広報こが3月号の人権特集「THE HUMAN RIGHTS」において、「生理は、女性だけの問題ではありません」をテーマに、女性の健康課題への理解や周囲の配慮の大切さについて啓発記事を掲載した。また、市民部及び保健福祉部の全職員が国際女性デーのシンボルであるミモザ模様の名札を着用し、啓発に取り組んだ。	【人権センター・健康介護課】 ●国際女性デー及び女性の健康週間 ・健康介護課と人権センターが連携したパネル展示に加え、広報こが、市ホームページ、公式LINE、職員向け掲示板など複数の媒体を活用し、女性の健康と権利への理解促進を図る啓発を行うことができた。今後も、女性の健康課題を身近なこととして理解してもらえるよう、継続的な情報発信や啓発に取り組んでいく必要がある ・女性の健康づくりについて、関係部署と連携した普及啓発の推進が必要 ・若年女性をはじめ幅広い年代に対する効果的な周知・啓発の充実
		子ども	●子どもの健康づくり推進事業 ・子どもの骨を介した健康づくりで、全小学生(4年生)8校中学生(1年生)3校に生活習慣記録(2回)、骨密度測定(1回)、株式会社明治(1回)、市から生活習慣に関する講義(1回)を実施 生活習慣記録を保護者とも共有している。	子ども家庭センター	●幼児健診 ・幼児の疾病の予防、早期発見、成長・発達の確認及び健康の保持・増進、育児支援をする。早寝・早起き等、規則正しい生活習慣を身につけるよう支援を行う。	【健康介護課】 ●子どもの健康づくり推進事業 生活習慣調査システム ・生徒、児童が回答していても回答が反映されていない場合があるが、原因が不明である。 ・回答結果が1人1つのエクセルデータ(縦データ)で出てくるため、1つのシートにまとめる作業に時間がかかる。 ・誤入力疑いのデータが多い。 ・測定、講話など出務人数が多い ・株式会社熊猫に原因究明依頼中 ・出務人数は減らせないため対応が難しい ＊令和8年度取り組み・改修を行うことで、回答結果データと入力における課題は解決予定。
			●市内企業における健康講座・健康測定 ・市内企業と連携し、生活習慣病予防に関する食事や運動のポイントについて講義を行うとともに、健康講座や健康測定を実施し、働く世代への普及啓発及び健康づくりへの関心を高める機会を提供した。 ・実施回数：1回(福岡東労働基準協会雇い入れ研修)		●市内中学校・福岡女学院看護大学との連携事業 ・福岡女学院看護大学及び市内中学校と連携し、性教育に関する情報共有及び今後の性教育のあり方の検討会を実施。	
			●健診等の啓発 ・広報やホームページ、出前講座、健診結果説明会等を活用し、健診や歯科検診受診、家庭血圧測定などを啓発した。		●すこやか教室(妊婦教室) ・妊娠中の保健指導及び妊婦同士の交流を行う妊婦教室において、保護者に対し喫煙や飲酒のリスクについて普及啓発を実施した。 (R7年度実績) ・中期すこやか教室 実施回数 6回 参加妊婦数 25人	
年1回の特定健診やがん検診等の受診者を増やす	○特定健診やがん検診等の定期的な受診の必要性や受診方法などの周知啓発を行い、受診率の向上を図ります。		●特定健診・保健指導 ・特定健診結果から、動機付け支援、積極的支援、生活習慣病重症化予防など小集団や個別での相談を実施 特定健診受診率(R6年度法定報告)37.6% ・動機付け 支援済み人数184 87.2% (R6年度法定報告) ・積極的支援 支援済み人数30 78.7% (R6年度法定報告)			【健康介護課】 ●特定健診・保健指導 ・特定健診受診率の向上 ・特定保健指導実施率の向上及び、個別性に合わせた効果的な保健指導の充実。
		高齢者	●後期高齢者健診 ・高齢者の保健事業：健康状態不明者等への訪問周知の際、民生委員等に啓発。 ・その他：出前講座や、健康づくりイベントの際は必ず必要性和共に後期健診の受診啓発。 ●低栄養の予防・予防に関する情報発信 ・出前講座などで、フレイル予防を意識した食事や運動などに関する助言や相談対応を実施。対象者には教室を案内する ・一体的実施ツール抽出者と家族：対象者26人、教室参加6人			【健康介護課】 ●後期高齢者健診 ・県平均を上回る高齢化を踏まえ、国保データヘルス計画や介護保険事業計画を活用した介護給付費抑制の効果検証が必要 ・医療機関や福祉職等他機関との連携 ・高齢者特有の病態理解と住民対応力も含めた関係機関との連携技術の力量形成 ＊R8年度の取り組み・保健指導力量形成研修を通して、国の施策や保健指導の評価を学習している。事前課題で実施した統計分析から、本市では若年期から脂肪肝指数が高く、臓器障害の重症化につながっていることが明らかとなった。

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり

まもる

目標	目標に沿った取組内容	関係する重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
年1回の特定健診やがん検診等の受診者を増やす	○健診結果における集団、個別の保健指導により、効果的な生活習慣病予防の取組を支援します。	女性	●がん検診 ・胃がん 35回 1,236人 ・胃がん内視鏡 401人 ・大腸がん 35回 2,266人 ・肺がん 35回 2,199人 ・子宮頸がん37回 1,259人・乳がん37回 1,360人 ・前立腺がん 35回 491人 ・胃がんリスク 632人 ・骨粗しょう症 10回 226人			
	○喫煙や受動喫煙の健康被害に関して、正しい知識の普及啓発とともに、関連疾患(がん、COPDなど)の予防・早期発見、禁煙に向けた支援を行います。 ○がん対策推進基本法に基づき、学校の保健学習等で取り組むがん教育を支援します。		●がん検診受診の周知啓発 ・福祉まつり等のイベントで、がん検診について周知啓発を行う。市の健診で女性が受診しやすいようにレディースデイを設けた。			
かかりつけ医をもっている人を増やす	○かかりつけ医をもつことを勧め、自分の健康状態の把握と適切な専門的ケアにつなげます。		●かかりつけ医を持つことへの啓発 ・自分の健康状態を定期的に把握できるように、健康相談等市民の方と話す際にかかりつけ医を持つことを勧める。			
年1回以上の歯科受診者を増やす	○かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科検診受診を促進することで、自分の歯・口腔機能の把握と適切な専門的ケアにつなげます。 ○小学校の歯と口の健康週間において、学校の実情に応じた取組を歯科医師会と連携して行います。		●粕屋デンタルフェア(古賀市が当番、サンコスモ古賀で実施) 参加人数 699名 ●歯科検診 歯周疾患検診 対象者:4,303人 受診者:240人	子ども家庭センター	●幼児歯科健診 ・1歳6か月児健康診査 う歯 0本 むし歯のある人 0人 ・3歳児健康診査 う歯 67本 むし歯のある人 25人	
健康チャレンジ10か条を知っている人を増やす	○健康チャレンジ10か条を学校や地域、企業と連携し周知啓発を行います。	子ども	●健康チャレンジ10か条の啓発 ・地域での健康づくり活動を実践する団体や飲食店の代表者、広報団体などの代表者を委員として、その所属団体及び地域活動の中で、健康チャレンジ10か条を普及。 ・10か条推進委員会:全4回実施。リーフレット、ポスター等配布 ・日頃から健康チャレンジ10か条を実践できるように、健康チャレンジ10か条が目にとまるよう周知啓発を行う。 出前講座で10か条の紹介。 ・出前講座2回実施。			【健康介護課】 ●健康チャレンジ10か条の啓発 ・健康チャレンジ10か条の認知度向上 ・若年層の健康への関心を高める取組の推進 ・定年世代、男性、若年層など対象者に応じた効果的な周知啓発の実施 *R8年度の取り組み・・健康チャレンジ10か条ポスターを見えやすく、目に入りやすいように大きいサイズ(A1)に変更し増刷した。
健康チャレンジ10か条を実践している人を増やす	○健康チャレンジ10か条を日常生活の中で実践できるような情報提供を行います。					

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり

たのしむ

目 標	目 標に沿った取組内容	関係する 重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課 題	
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況		
社会活動(地域活動・就労等)を行って いる人を増や す	○社会活動に関する情報発信を積極的 に行います。 ○社会活動を促進するために、関係課及 び関係団体等と連携し、参加しやすい場 所でのイベントや講座などを企画・実施しま す。	人材育成	●健康づくり推進員養成講座 ・Inbody測定等の健康測定を通して、健康づくり等に取り組む人材を養成する・ 申し込み:10人、受講:9人、委嘱:9人	生涯学習推進課	●ウォーキング人材育成講座 ～がんばらない健康講座～3月開催全2回 参加実績:17人 第1回 正しい健康情報 第2回 姿勢チェック 地域でウォーキングを推進できる人材の育成 地域でウォーキングを推進できる人材の育成 講師:健康教育推進研究所 所長(医学博士)江口泰正氏	【生涯学習推進課】 ●ウォーキング人材育成講座 ・参加者自身の健康づくりにとどまっていると思われるため、参加者が地域でウォーキングを広める活動につながるような取組を進める必要がある。 【健康介護課】 ●健康づくり推進員養成支援 ・サポーターの主体的な活動の推進 ・サポーターの高齢化及び新規人材の確保 ・事業需要の増加に対応したサポーター体制の充実 ＊R8年度の取り組み工夫・・・自主的に健康づくりを広める人材を育成するため、テーマ別のグループを編成し、各テーマに沿った学びを深める機会を設けている。 ●ヘルス・ステーション設置事業 ・事業需要の増加に対応したサポーター体制の充実 ・地域の継続的な運営に向けた支援体制の充実 ・新たなヘルス・ステーション設置に向けた地域支援 ＊R8年度の取り組み・・・地域におけるヘルス・ステーション活動の拡充を図るため、代表者が変更となった行政区に対しては改めてヘルス・ステーションについて説明する機会を設ける。更に、新規設置区への支援や、市広報にて、ヘルス・ステーションや活動内容について紹介していく。	
		人材育成	●ヘルス・ステーション設置事業 ・健康づくり等関連サポーターや地域の様々な団体・組織が、地域活動において、主体的に健康づくり・介護予防に取り組めるよう支援。 ・15行政区		地域活動サポート センター ゆい		●古賀市地域活動サポートセンター出前講座 ・地域や施設の集いの場における介護予防活動の普及をめざし、介護予防サポーターを育成し、出前講座を行う。センターは地域や施設の要望により介護予防サポーターをマッチングして、高齢者の社会参画を促す。 ●地域介護予防活動支援 ・介護予防活動を自主的に地域で実践できるサポーターを養成し、地域活動を通じて高齢者の介護予防につなげた。
				子ども家庭セン ター			●子育て応援サポーター養成講座 ・地域の中で子育てがしやすい環境づくりをめざし、子育て家庭を支援する人材を養成する。 ・R7年度実績 子育て応援サポーター養成人数 7人 子育て応援サポーター累計人数 24人(R7年度末時点)
				環境課			●環境保全活動の推進 ・アダプトプログラム及びボランティア清掃活動におけるごみ袋の配布及びごみの収集等の支援を実施 ・大根川一斉清掃(11月と3月実施)におけるごみ袋の配布及びごみの収集等の支援を実施 ・ラブアース・クリーンアップ(6月)の開催

基本理念「あなたが主役 みんなで広める健康づくり」
基本方針：ひとの健康づくり 一人ひとりにあった健康づくりの促進
基本方針：まちの健康づくり 健康を支え守るための社会環境づくり

たのしむ

目標	目標に沿った取組内容	関係する重点項目	健康介護課	他課(庁内連携)		課題
			R7年度 事業実施状況	実施課	R7年度 事業実施状況	
十分な睡眠がとれていると思う人を増やす	○睡眠の重要性や休養をとることの大切さについて、正しい知識の普及啓発を図ります。 ○保育所等、学校、地域などと連携し、子どもの「早起き早寝」を推進し、こころと体の健康づくりに取り組みます。 ○こころの健康づくりのためにストレスのコントロール方法や悩みを持つ人への寄り添い方を身につけられるよう支援します。 ○こころの健康づくりに関する関係課及び関係機関と連携し、相談窓口の案内や地域におけるこころの健康づくりの充実に向けた支援を行います。	子ども	●子どもの健康づくり推進事業 ・子どもの骨を介した健康づくりで全小学生(4年生)8校、中学生(1年生)3校に睡眠の大切さを説明する。	福祉課	●こころの相談窓口、専門の相談機関の紹介、ゲートキーパー研修会 ・啓発事業として世界の自殺予防デー(9/10～9/16)にリーパスプラザ、サンコスモ古賀で展示。新採職員に22人に対し「自殺ゼロのまちを目指して」ゲートキーパー研修を行なった ※介護予防・生きがい活動支援センター「しゃんしゃん」:「しゃんしゃん」令和6年度で終了	
趣味や生きがいがある人を増やす	○趣味や生きがいづくりを促進するための情報発信を積極的に行います。		●市民への情報発信 ・ホームページや広報誌を活用し、地域活動サポートセンター「ゆい」等で実施されている市民活動を紹介するとともに、その取組や活動内容を広く周知し、市民活動への理解と参加促進を図った。	まちづくり推進課	●つながりひろばにおける活動 R7年度登録団体数:39団体(R8.3.31時点) ・市民のボランティア活動に対する興味関心を向上させるため、講座や交流会を開催し、また、わ・わ・わ通信の発行(年4回)や新設ホームページやSNS等を活用し、市民活動の状況や情報を広く発信。	【まちづくり推進課】 ●つながりひろばにおける活動 ・メンバーの高齢化に伴い担い手が不足し、解散する団体が増えている。一方でライフスタイルの変化により若年層が活動に参加も容易ではない。市民活動団体をPRし、一人でも多くの方が興味を持つきっかけをつくり、参加者を増やす取り組みが必要である。